

NASU-MATERIAL

# 2009年 環境報告書



人へ 社会へ 地球へ そして...



地球の未来環境を考える



那須マテリアル株式会社

# 環境報告書の制作にあたって

## 報告書対象期間

---

2008年 4月 1日 ～ 2009年 3月31日

## 報告書対象組織

---

那須マテリアル株式会社

本社工場（栃木県大田原市）及び東北事業所（福島県西郷村）

## 目次

1. 会社概要・グループ会社履歴・組織体制・グループ会社一覧	2
2. 工場施設及び設備の概要	3
3. 環境方針	4
4. EMSの取り組み- (1)	5
EMSの取り組み- (2)	6
5. 教育訓練	8
6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例	9
7. 地域社会への取り組み（クリーン活動）	10
8. 再生・リサイクル品のご紹介	10

# 1. 会社概要

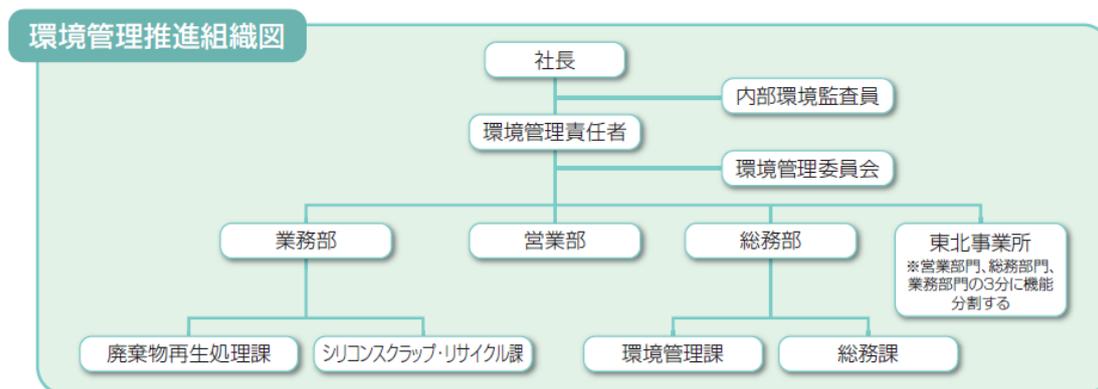
## 会社概要

社名	那須マテリアル株式会社	資本金	56,000,000円(平成21年10月現在)
創設年月日	平成9年9月9日	役員	代表取締役 星 彰治
操業開始日	平成12年4月1日		取締役 星 豪紀
本社	栃木県大田原市北金丸2122		取締役 星 祐見子
東北事業所	福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平175-5		監査役 高梨 友子

## グループ会社履歴

1997年 9月	那須マテリアル株式会社を設立	2007年 8月	那須マテリアル株式会社本社・東北事業所 I S O 27001の認証を取得
2000年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 栃木県産業廃棄物処分業許可を取得	9月	秋田マテリアル株式会社を設立
2002年11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得	10月	I S O 14001更新審査合格
12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
2003年 6月	星 彰治が代表取締役に就任する	12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新
2004年 1月	那須マテリアル株式会社本社 I S O 14001の認証を取得	2008年 1月	エヌズホールディングス株式会社を設立
2005年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 栃木県産業廃棄物処分業許可を更新	5月	秋田マテリアル株式会社 秋田県産業廃棄物処分業許可を取得
10月	I S O 14001の1年次定期サーベイランス審査により登録継続	8月	I S O 27001の1年次定期サーベイランス審査により登録継続
2006年 4月	福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として東北事業所を開設する	11月	I S O 14001の1年次定期サーベイランス審査により登録継続
9月	一般労働者派遣業許可を取得	12月	郡山市産業廃棄物収集運搬業許可を取得
10月	群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 I S O 14001の2年次定期サーベイランス審査により登録継続 東北事業所を追加登録	2009年 4月	那須マテリアル株式会社東北事業所増築工事完了

## 組織体制



## 環境関連グループ会社一覧

エヌズホールディングス株式会社  
 本社/〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175-5  
 T E L. 0248-48-0099  
 大田原支店/〒324-0011 栃木県大田原市北金丸2122  
 T E L. 0287-20-2660

秋田マテリアル株式会社  
 〒018-0311 秋田県にかほ市金浦字塩焚浜188  
 T E L. 0184-74-5277

## 2. 工場施設及び設備の概要

### (1) 本社工場

所在地 栃木県大田原市北金丸 2122

敷地面積 33,510 m<sup>2</sup>

業務内容 (1)OA機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別により、  
鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル化  
(2)シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード  
シリコンインゴットの売買  
(3)環境業務全般に係わる派遣事業及びこれらに伴う教育  
(4)建設資機材・環境機器のレンタル事業



#### 保有設備(本社所有)

名称	破碎機	粉碎機	被覆電線 処理装置	発砲スチロール 減容再生機	フォークリフト
数量	1	1	1	1	2

名称	ローリフト	トラック スケール	プリンター付 デジタル計量器	2tトラック	4tトラック
数量	1	1	1	2	1

#### 保有設備(本社所有レンタル品)

名称	3.8m敷鉄板	三脚付光波 ブリズム	バックホウ 油圧ショベル	生ゴミ 分解処理機
数量	150枚	3	2	1

### (2) 東北事業所

所在地 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平 175-5

敷地面積 2,940 m<sup>2</sup>

業務内容 (1)鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル化  
(2)シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード  
シリコンインゴットの売買



#### 保有設備(東北事業所所有)

名称	300t圧縮機	70t圧縮機	フォークリフト	プリンター付 デジタル計量器	シリコン 自動選別機
数量	1	1	2	1	1

# 3. 環境方針

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分（素材毎の再生利用）事業・産業廃棄物収集運搬事業・シリコンスクラップの再利用・再生利用事業という環境保全に関わる事業を展開していることを踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また2006年4月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大河川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
  - (1) 電力及び軽油の消費の削減、及びCO2排出量の削減
  - (2) 収集運搬作業中の破損及び落下等の事故の予防
  - (3) 再生入荷物及びリサイクル品の取扱数量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進
  - (4) 自社発生再生原料による製品化※2009年 4月 1日 : (1)CO2排出量の削減を追加、(5)を削除
4. これらの環境目的に従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていきます。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004年 6月18日

改定：2009年 4月 1日

那須マテリアル株式会社

代表取締役 星 彰 治

# 4. EMSの取り組み- (1)

## 環境目的・目標一覧（全社分）

区分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 5年度目	
				2008年（H20）度目標	目標の使用量、 排出量等
				期間：2008年4月～2009年3月	
1.省エネ・ 省資源対策	1.電力使用量の削減①（100V）	本社の照明・事務機器・業務部門関連設備、東北事業所関連の照明・事務機器・業務部門関連の施設設備等の稼働に伴う電力の消費	H18年度想定実績値： 69,526kwh (実績 68,082)	■基準値比 5.5%削減	65,702kwh
	2.電力使用量の削減②（200V）	東北事業所の業務部門関連設備（プレス機他）稼働に伴う電力の消費 ※本社は該当しない	H18年度想定実績値： 4,477kwh (実績 4,081)	■2007年度実績値 (売上高原単位 0.03562kwh/万円)比 1.0%削減	0.03526 kwh/万円
	3.ガソリン使用量の削減	本社及び東北事業所の総務部・営業部（営業部門）における業務上の自家用車使用、及び全社員の通勤上の自家用車使用に伴うガソリンの消費	H19年度実績値 2,558L	■2007年度実績値比 3.0%削減	2,481L
	4.軽油使用量の削減	本社業務部の車輛（トラック）用燃料の消費、東北事業所業務部門で使用する車輛（トラック）用燃料の消費	H18年度想定実績値： 6,246 ㍓ (実績 5,392)	■基準値比 10.0%削減	5,621L
2.廃棄物等 排出対策	1.車輛からの排気ガスの削減	上記3.に関わる自家用車使用に伴う排気ガスの排出、及び上記4.に関わる車輛（トラック）使用に伴う排気ガスの排出	データ無し	■ガソリン及び軽油の目標に置き換える	
3.施設・設備・ 作業関連の 緊急時対策	1.業務用トラック 関連の予防保全	本社業務部及び東北事業所業務部門で使用するトラックからのオイル漏れ、騒音、荷物の落下、荷物の飛散、人身・物損事故	H.17～19年度実績： 左記緊急事態発生 1件(荷物の落下)	■事故発生 0件	
	2.収集運搬作業 関連予防保全	解体作業中の破損事故、トラック捕縛作業中の（人の）落下事故、トラックの過積載運送、運搬中の荷物の落下事故及び人身・物損事故	H.17～19年度実績： 左記緊急事態発生 1件(荷物の落下)	■事故発生 0件	
	3.フォークリフト 関連の予防保全	敷地外への転落事故、建物・人身等への接触事故、荷積み・荷下ろし時の荷物の落下事故、積雪時に横転・接触事故、油圧ホース等からの油の漏洩	H.17～19年度実績： 左記緊急事態発生 1件	■事故発生 0件	
4.その他環境に 有益な項目	1.再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 ※H18年度実績値：本社再生品の実績値（鉄、アルミ、ステンレス、プラスチック、雑品、シリコンの合計）		H.18年度実績 1,113,058Kg	■基準値比 5.0%増加	1,168,711 kg
	2.自社発生再生原料を使用しての製品化へ取り組むことによる資源の再生利用、環境負荷の低減		H.16年度実績 自社製品 0Kg 供給量 2,370Kg	■再生製品の販売	300Kg
	3.環境関連業者との合同セミナー開催による情報交換及び環境啓蒙活動の推進		H.16年度実績 0回	■合同セミナー開催	6回開催
	4.業務改善提案の促進		H.19年度実績 データ無し	■提案目標件数：全社合計 23件 (内訳) 総務部 1件、業務部 6件、東北事業所 10件、営業部 6件	

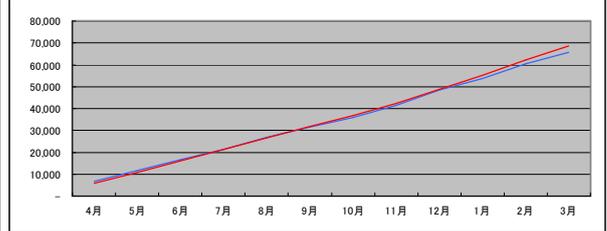
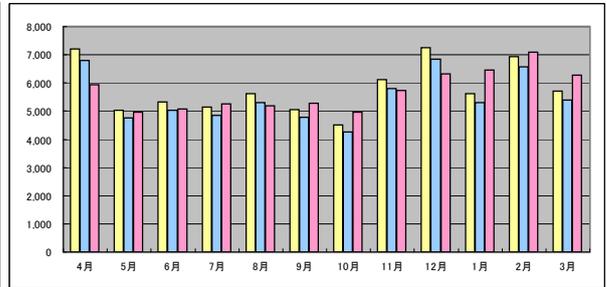
当社は、エネルギー・資源の削減活動はもちろんのこと、廃 OA 機器類を中心とした受入れ品を、手解体という手法を用いて、マテリアルリサイクルに取り組むということが事業活動を通じて重要な環境活動になると考えております。

# 4. EMSの取り組み- (2)

## 環境監視実績データ一覧 (全社分-その1)

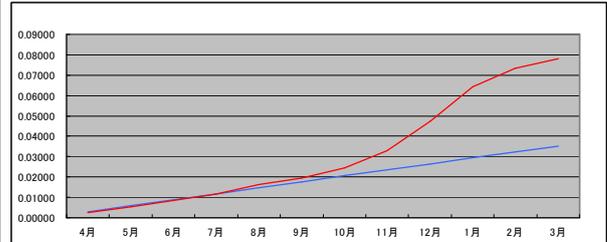
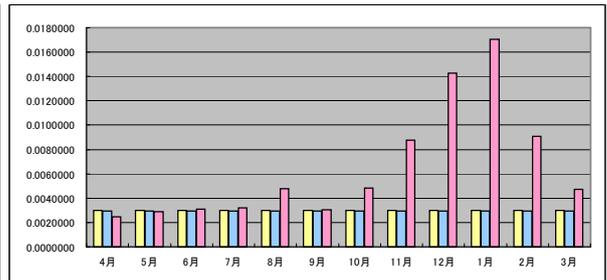
### ■電力使用量100V

監視データ1		電力使用量 100V (kwh)				H20年度 目標値	基準値 5.5%削減 目標使用量 : 65,702 kwh		
月	18年度 想定 実績値	各月目標・実績				累計目標実績			
		H20年度 各月目標(a)	H20年度 各月実績(b)	対目標値 (b/a)	評価	H20年度 累計目標値(c)	H20年度 累計実績値(d)	対目標値 (d/c)	評価
4月	7,206	6,810	5,933	87.1%	○	6,810	5,933	87.1%	○
5月	5,031	4,754	4,958	104.3%	×	11,564	10,891	94.2%	○
6月	5,315	5,023	5,077	101.1%	×	16,587	15,968	96.3%	○
7月	5,138	4,855	5,259	108.3%	×	21,442	21,227	99.0%	○
8月	5,615	5,306	5,201	98.0%	○	26,748	26,428	98.8%	○
9月	5,054	4,776	5,278	110.5%	×	31,524	31,706	100.6%	×
10月	4,512	4,264	4,954	116.2%	×	35,788	36,660	102.4%	×
11月	6,130	5,793	5,741	99.1%	○	41,581	42,401	102.0%	×
12月	7,248	6,849	6,330	92.4%	○	48,430	48,731	100.6%	×
1月	5,618	5,309	6,468	121.8%	×	53,739	55,199	102.7%	×
2月	6,946	6,564	7,095	108.1%	×	60,303	62,294	103.3%	×
3月	5,713	5,399	6,287	116.5%	×	65,702	68,581	104.4%	×
	69,526	65,702	68,581						



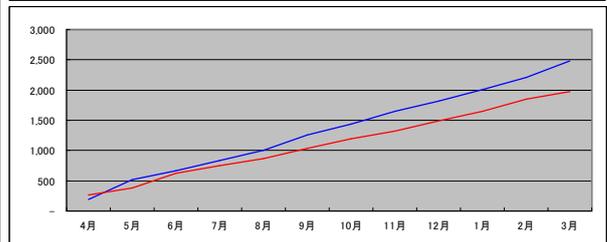
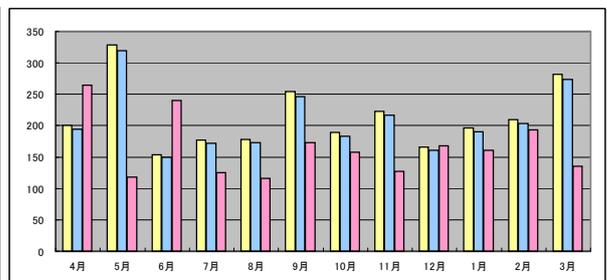
### ■電力使用量200V

監視データ2		電力使用量 200V (kwh)				H20年度 目標値	基準値 1%削減 目標使用量 : 0.03526/万円		
月	19年度 売上高原単位 実績値	各月目標・実績				累計目標実績			
		H20年度 各月目標(a)	H20年度 各月実績(b)	対目標値 (b/a)	評価	H20年度 累計目標値(c)	H20年度 累計実績値(d)	対目標値 (d/c)	評価
4月	0.0029684	0.002939	0.002464	83.8%	○	0.00294	0.00246	83.8%	○
5月	0.0029684	0.002939	0.002891	98.4%	○	0.00588	0.00536	91.1%	○
6月	0.0029684	0.002939	0.003088	105.1%	×	0.00882	0.00844	95.8%	○
7月	0.0029684	0.002939	0.003210	109.2%	×	0.01175	0.01165	99.1%	○
8月	0.0029684	0.002939	0.004750	161.6%	×	0.01469	0.01640	111.6%	×
9月	0.0029684	0.002939	0.003059	104.1%	×	0.01763	0.01946	110.4%	×
10月	0.0029684	0.002939	0.004843	164.8%	×	0.02057	0.02431	118.2%	×
11月	0.0029684	0.002939	0.008738	297.3%	×	0.02351	0.03304	140.6%	×
12月	0.0029684	0.002939	0.014294	486.4%	×	0.02645	0.04734	179.0%	×
1月	0.0029684	0.002939	0.017034	579.6%	×	0.02939	0.06437	219.0%	×
2月	0.0029684	0.002939	0.009067	308.5%	×	0.03233	0.07344	227.2%	×
3月	0.0029684	0.002939	0.004743	161.4%	×	0.03526	0.07818	221.7%	×
	0.035621	0.03526	0.078181						



### ■ガソリン使用量

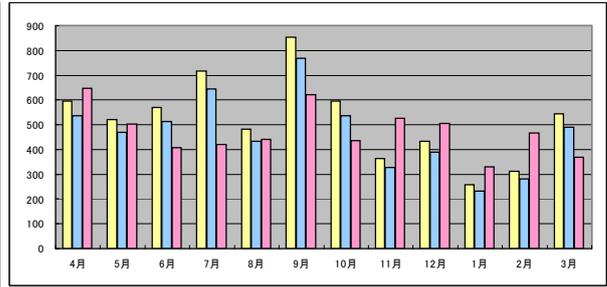
監視データ3		ガソリン使用量 (L)				H20年度 目標値	基準値 3%削減 目標使用量 : 2,481 L		
月	19年度 想定 実績値	各月目標・実績				累計目標実績			
		H20年度 各月目標(a)	H20年度 各月実績(b)	対目標値 (b/a)	評価	H20年度 累計目標値(c)	H20年度 累計実績値(d)	対目標値 (d/c)	評価
4月	200	194	265	136.6%	×	194	265	136.6%	×
5月	329	319	118	37.0%	○	513	383	74.6%	○
6月	154	149	240	160.7%	×	663	623	94.0%	○
7月	177	172	125	72.8%	○	834	748	89.7%	○
8月	178	173	116	67.2%	○	1,007	864	85.8%	○
9月	254	246	173	70.2%	○	1,253	1,037	82.7%	○
10月	189	183	158	86.2%	○	1,437	1,195	83.2%	○
11月	223	216	127	58.7%	○	1,653	1,322	80.0%	○
12月	166	161	168	104.3%	×	1,814	1,490	82.1%	○
1月	196	190	161	84.7%	○	2,004	1,651	82.4%	○
2月	210	204	193	94.7%	○	2,208	1,844	83.5%	○
3月	282	274	135	49.4%	○	2,481	1,979	79.8%	○
	2,558	2,481	1,979						



# 環境監視実績データ一覧（全社分-その2）

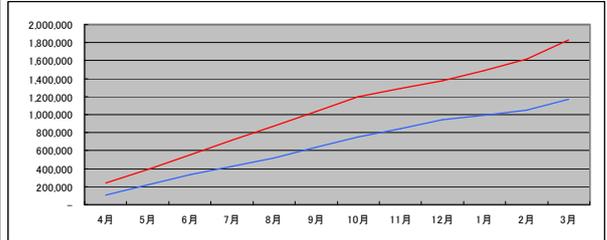
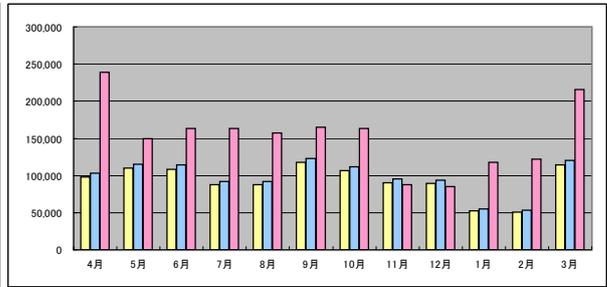
## ■軽油使用量

監視データ4		軽油使用量 (L)				H20年度 目標値	基準値 10%削減 目標使用量 : 5,621 L		
月	18年度 想定 実績値	各月目標・実績				累計目標実績			
		H20年度	H20年度	対目標値	評価	H20年度	H20年度	対目標値	評価
		各月目標(a)	各月実績(b)	(b/a)		累計目標値(c)	累計実績値(d)	(d/c)	
4月	596	536	648	120.8%	×	536	648	120.8%	×
5月	521	469	502	107.1%	×	1,005	1,150	114.4%	×
6月	569	512	408	79.7%	○	1,517	1,558	102.7%	×
7月	717	645	421	65.2%	○	2,163	1,979	91.5%	○
8月	482	434	441	101.7%	×	2,597	2,420	93.2%	○
9月	853	768	621	80.9%	○	3,364	3,041	90.4%	○
10月	595	536	436	81.4%	○	3,900	3,477	89.2%	○
11月	364	328	527	160.9%	×	4,227	4,004	94.7%	○
12月	433	390	505	129.6%	×	4,617	4,509	97.7%	○
1月	259	233	330	141.6%	×	4,850	4,839	99.8%	○
2月	312	281	467	166.3%	×	5,131	5,306	103.4%	×
3月	545	491	370	75.4%	○	5,621	5,676	101.0%	×
	6,246	5,621	5,676						



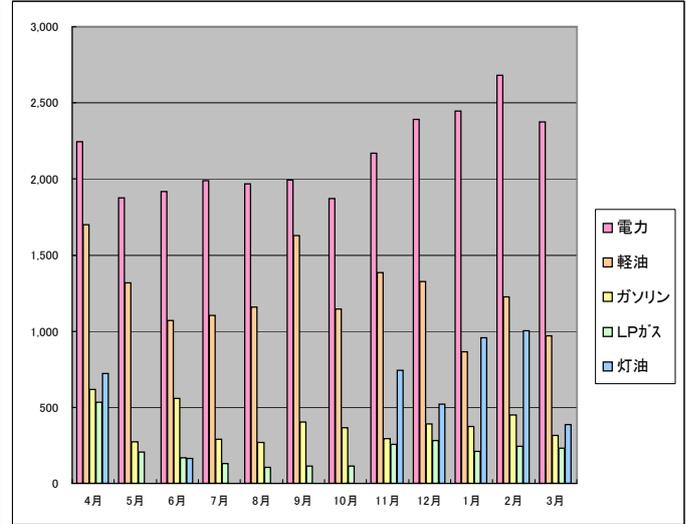
## ■再生入荷物・リサイクル品取扱量

監視データ5		再生入荷物・リサイクル品 取扱量の増加(単位: kg)				H20年度 目標値	基準値 5%増加 目標使用量 : 1,168,711 kg		
月	18年度 実績値	各月目標・実績				累計目標実績			
		H20年度	H20年度	対目標値	評価	H20年度	H20年度	対目標値	評価
		各月目標(a)	各月実績(b)	(b/a)		累計目標値(c)	累計実績値(d)	(d/c)	
4月	98,010	102,911	238,921	232.2%	○	102,911	238,921	232.2%	○
5月	109,955	115,453	149,380	129.4%	○	218,363	388,301	177.8%	○
6月	108,531	113,958	163,681	143.6%	○	332,321	551,982	166.1%	○
7月	87,509	91,884	163,727	178.2%	○	424,205	715,709	168.7%	○
8月	87,797	92,187	157,362	170.7%	○	516,392	873,071	169.1%	○
9月	117,449	123,321	164,634	133.5%	○	639,714	1,037,705	162.2%	○
10月	106,543	111,870	163,649	146.3%	○	751,584	1,201,354	159.8%	○
11月	90,485	95,009	87,558	92.2%	×	846,593	1,288,912	152.2%	○
12月	89,132	93,589	85,521	91.4%	×	940,182	1,374,433	146.2%	○
1月	52,163	54,771	117,741	215.0%	○	994,953	1,492,174	150.0%	○
2月	51,023	53,574	122,183	228.1%	○	1,048,527	1,614,357	154.0%	○
3月	114,461	120,184	215,334	179.2%	○	1,168,711	1,829,691	156.6%	○
	1,113,058	1,168,711	1,829,691						



## ■2008年度温室効果ガス排出量(全社)

	CO2排出量					月別合計	月別%
	電力	軽油	ガソリン	LPガス	灯油		
4月	2,243	1,701	615	534	723	5,816	11.1%
5月	1,874	1,317	274	205	0	3,670	7.0%
6月	1,919	1,071	557	168	164	3,879	7.4%
7月	1,988	1,105	290	130	0	3,513	6.7%
8月	1,966	1,157	269	106	0	3,498	6.7%
9月	1,995	1,630	402	112	0	4,139	7.9%
10月	1,873	1,144	367	112	0	3,496	6.7%
11月	2,170	1,383	295	255	743	4,846	9.2%
12月	2,393	1,325	390	280	521	4,909	9.4%
1月	2,445	866	374	211	957	4,853	9.2%
2月	2,682	1,226	448	242	1,002	5,600	10.7%
3月	2,376	971	313	230	384	4,274	8.1%
合計	25,924	14,896	4,594	2,585	4,494	52,493	
	49.4%	28.4%	8.8%	4.9%	8.6%		100.0%



今年度は新たな取組みとして、温室効果ガス排出量の集計を実施しました。このデータは次年度以降のEMS活動に有効活用してまいります。

また、経済不況の中、再生入荷物・リサイクル品取扱量の実績値が目標値を上回れたことは、評価できると言えます。

# 5. 教育訓練

## 2008年度教育訓練計画兼進捗管理表（全社分）

主管：環境管理課

区分	教育の内容	対象者	頻度	実施期間	主管部門・機関	
1. 一般教育	・EMS概要、地球環境保全、環境マネジメント活動全般(方針、目的目標、EMP等含む)	管理者・一般従業員全員	2回	1回目:2008年6月	環境管理課又は外部専門機関	
				2回目:2008年10月		
2. 特定教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業による顕在的又は潜在的な環境影響</li> <li>・手順書に従わなかった場合の環境影響</li> <li>・環境関連法規等</li> <li>・その他著しい環境側面に関する知識</li> </ul>	総務課関連手順書教育:総務課全員(省エネ管理手順書等)	1回	2008年 6月	環境管理課	
		廃棄物再生処理課関連手順書教育:再生処理課従業員全員	1回	2008年 6月	再生処理課 環境管理課	
		顧客A(管理報告業務):報告管理者数名	1回	2008年 6月	再生処理課	
		フォークリフト操作管理手順教育:オペレーター全員	1回	2008年 6月		
		顧客B(解体作業報告の管理作業):数名受講	1回	2008年 6月		
			中間処理機操作全般教育:操作者全員	1回	2008年 6月	
			SSR課関連手順書教育 SSR課全従業員	1回	2008年 6月	SSR課
	東北事業所適用手順書教育:各手順書 該当者全員	1回	2008年 6月	環境管理課		
3. 内部環境 監査員教育	・内部環境監査員養成講座 (環境管理責任者主催コース)	内部監査員候補者	1回	2007年11月	外部専門機関	
	・内部環境監査員ブラッシュアップ講座	認定済監査員(監査前の訓練)	2回	2008年 7月 2009年 1月	外部専門機関	
4. 緊急事態 対応教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が社が特定している緊急事態</li> <li>・緊急事態発生時での対応及び処置</li> <li>・緊急事態の実際の訓練</li> </ul>	緊急事態が想定される業務従事者全員:(本社・東北事業所)	1回	2008年 7月	各部門責任者	
		会社全体に関わる緊急事態: 全従業員(本社・東北事業所)	1回	2008年 9月 防災訓練	環境管理課	

### 環境教育

毎年、部門別または全社分の教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部環境監査員教育等を実施し、すべての従業員に環境活動の取り組みへの理解や環境意識の向上をはかっております。

#### 環境一般教育



#### 特定教育 (中間処理設備取扱い)



#### 環境内部監査員教育・監査員養成講座



### 緊急事態対応訓練

当社では環境に影響を与える可能性のある事故を想定し、毎年1回緊急事態対応訓練や防災訓練を実施しております。対応手順に基づき対応テストや緊急時の備品類の整備を行っています。





## 7. 地域社会への取り組み (クリーン活動)

本社および東北事業所の工場周辺を当社の従業員が一定期間毎にクリーン活動を実施しております。



## 8. 再生・リサイクル品のご紹介

弊社で発生した選別素材を利用して製作した再生品。さまざまな場所で利活用されています。



東北事業所 花壇に利用した  
自社発生原料による疑木①



東北事業所 花壇に利用した  
自社発生原料による疑木②



ウッドデッキ

## 最後に

那須マテリアル株式会社は、事業活動およびこの環境報告書の情報開示を通じ、地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを図るとともに、信頼の確保に今後とも努めてまいります。

2009年 10月

那須マテリアル株式会社

代表取締役

星 彰三